

2025年4月14日

矢崎総業株式会社



電動車両の使用済み車載電池を有効活用 リユース蓄電システム用製品『B▽TTERFLY[®]』の実証試験を開始

矢崎総業株式会社（以下、当社）は、劣化状態の異なる使用済み車載電池が混在していても利用することができるリユース蓄電システム用製品『B▽TTERFLY[®]（バタフライ）』を開発し、このたび Y-CITY（静岡県裾野市）内の実証施設において実証試験を開始しました。

本取り組みは、使用済みの車載電池をリユースし、再生可能エネルギーの有効活用と持続可能な社会の実現に向けた新たな技術の検証を行うものです。

当社は、2030年までにリユース蓄電システム市場への本格的な事業参入を目指しています。

【背景】

世界的な脱炭素社会の実現に向けて、電動車両の普及が進む一方、使用済み車載電池のリサイクルや再利用など、適切な処理が大きな課題となっています。特に様々な環境で使用された車載電池は、劣化状態が異なるため再利用が難しく、効率的な活用方法が求められています。当社は、この社会課題を解決するため、独自アルゴリズムと制御技術を用いたリユース蓄電システム用製品『B▽TTERFLY[®]』の開発を進めてきました。

【B▽TTERFLY[®]の特長】

- ・劣化状態の異なる電池の混在利用：独自の制御アルゴリズムにより、効率的かつ安定した電力需給が可能です。
- ・資源の有効活用：使用済み車載電池を再利用し、コスト削減と環境負荷低減に貢献します。
- ・柔軟なシステム設計：家庭用・産業用・系統用への幅広い適用が可能です。

【実証試験の内容】

本実証試験では、リユース蓄電システム用製品『B▽TTERFLY[®]』の技術的な成立性および運用性能を確認するため、以下の2点を重点的に検証します。

① 独自アルゴリズムの有効性

『B▽TTERFLY[®]』に搭載された独自制御アルゴリズムが、電池の状態に応じて最適な電力制御を行い、安定した電力需給を実現できるかを確認します。

② 電池異常検出と制御機能

劣化状態の異なる電池を運用する中で、異常を検出し、自動的に停止または異常部を切り離してシステム全体の運転を継続する制御機能の有効性を評価します。

本実証試験は、Y-CITY内の実証施設にて2025年1月より開始し、今後の実用化に向けたデータ取得を進めます。

本実証試験を通じて得られたデータをもとに、産業用や系統用等の蓄電システムへの実用化を目指します。当社は今後も、持続可能な社会の実現に貢献する技術開発を進めてまいります。

【Y-CITY 内実証施設】



【リユース蓄電システム用製品 BUTTERFLY®】



本件に関するお問い合わせ先

矢崎総業株式会社 コーポレートコミュニケーション部
Tel.055-965-3002
Mail : kouhou@jp.yazaki.com